

高度僧帽弁輪石灰化症例での僧帽弁置換術に関する研究

1. 研究の対象

2012年10月～2019年9月までの期間、当院で僧帽弁置換術を受けられた方で、僧帽弁弁輪石灰化が強いとされた方。

2. 研究目的・方法

僧帽弁置換術において、僧帽弁後尖弁輪の石灰化は最大の障害とされています。左室破裂や弁周囲逆流などの合併症を予防するため、僧帽弁後尖弁輪の石灰化を除去せずに人工弁を縫着する報告もありますが、人工弁下の石灰化がそのまま残るため、機械弁による手術となってしまいます。一方で、僧帽弁後尖弁輪の石灰化を除去して後尖部分にパッチを縫着する報告もありますが、石灰化が左室奥深い部分までひろがっている場合は、パッチ縫着に難渋することも考えられます。これまでの当院での高度石灰化症例での僧帽弁置換症例から、僧帽弁後尖弁輪の石灰化の除去の是非、最適な手術方法などを検討します。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：カルテ番号、病歴、治療歴、術前後心エコー検査所見、血液検査データ、入院期間やICU滞在日数などの臨床経過 等

試料：血液 等

4. 外部への試料・情報の提供

外部への情報提供は予定しておりません。

5. 研究組織

心臓病センター榊原病院 心臓血管外科 部長 都津川敏範

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて病者さまもしくは病者さまの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先まで2019年9月30日までにお申出ください。その場合でもその後の診療など病院サービスについて病者さまに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

心臓病センター榊原病院

住所：岡山市北区中井町 2-5-1

電話：086-225-7111

研究責任者：

心臓病センター榊原病院 心臓血管外科 都津川敏範

研究代表者：

心臓病センター榊原病院 心臓血管外科 都津川敏範